題名：ゴシック体 15ポイント

複数名の場合は講演者に下線を付ける

脚注には、住所（和文、英文）を記入（各１行）する。

文字サイズ8ポイント、和文は明朝、英文Times系。

1〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5

12-9-5 Honcho, Nakano-ku, Tokyo, 164-0012, Japan

e-mail: gazou@isj.org

氏名（発表者）1，氏名2：明朝体 14ポイント

1所属名：明朝体 12ポイント　所属が複数存在する場合、上付き数字で対応をとる

2所属名： 所属がすべて同じ場合は上付数字不要

Paper Title: Times 12 Points, Titel Case Capitalization

（前置詞、冠詞を除く単語の頭文字は大文字）

“○，◆，and △”のように，最終著者の前に“カンマ”に続けて“and”を挿入する．ただし，2 人の場合には，“○ and ◆”のように“カンマ”は入れない．

Author NAME1, Co AUTHOR2: Times 11 points

(苗字は大文字で記載 例:Taro GAZO)

1Affiliation (1): Times 10 point

2Affiliation (2)

The abstract should be written with around 100 words and \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

１．はじめに

これは、[日本画像学会研究討論会]予稿集原稿作成のための日本語テンプレートとなっています。投稿の際、著者は「予稿集原稿作成要領」を熟読のうえ、本テンプレートのスタイルタグを利用し、原稿を仕上げてください。また、[日本画像学会誌原稿執筆要項](https://www.imaging-society-japan.org/www/jp/journal/submission/)の本文の書き方も参考にしてください。

２．原稿の書式

用紙はA4 (297 mm×210 mm)に、天地左右20.0 mmの余白を取ってください。原稿の長さは、図表を含めて4ページまたは2ページとして下さい。カラーの図表は、印刷される予稿集では白黒表示となりますが、電子版の予稿集ではカラー表現が可能です。カラーの図表をお使いの際は、白黒出力下で明瞭に視認できるような色使いをお願いします。

３．予稿原稿の構成

本予稿原稿はまず、1ページ目上部に講演題目と著者情報を記入し（共著の場合、発表者に下線）、概要（abstract）を英文100 words程度で記入します（1段組）。次に、2段組で本文を記入して下さい。この際、本文には適宜、セクションタイトル、サブセクションタイトルを付けてわかりやすく仕上げて下さい。また、1ページ目左カラム下段には、脚注を置き、所属機関などの「郵便番号、住所（連絡先）」を和文と英文でそれぞれ書いてください。また、任意ですが、講演者のe-mailアドレス記載を奨励します。

所属が総て同じ場合は上付数字不要

４．各項目のスタイルについて

予稿を構成する各項目（講演題目、著者名、所属、abstract、セクションタイトル、サブセクションタイトル、本文、図表、図のキャプション、表のキャプション、等）は、スタイルタグを利用して、段落の一括設定をすることが出来ます。メニューバーから、［ホーム］→［スタイル］を選択し、表示されたスタイルのリストから必要なスタイルをご利用下さい。

４.１　各スタイルタグの詳細

各スタイルタグは、Table 1のような構成となっております。各要素の段落を選択し、適切なスタイルを設定することで、書式が変更されます。

Table 1 List of style tags.

|  |  |
| --- | --- |
| ICJ 1.1 題名 | 15 pt ゴシック系, 中央揃え, 行送り22 pt |
| ICJ 1.2 著者名 | 14 pt 明朝系, 中央揃え, 行送り16 pt, 段落前後 12 pt |
| ICJ 1.3 所属 | 12 pt 明朝系, 中央揃え, 行送り16 pt |
| ICJ 2.1 Title | 12 pt Times系, 中央揃え, 行送り16 pt, 段落前12 pt |
| ICJ 2.2 Author | 11 pt Times系, 中央揃え, 行送り16 pt |
| ICJ 2.3 Affiliation | 10 pt Times系, 中央揃え, 行送り16 pt |
| ICJ 3 Abstract | 10 pt Times系, 両端揃え, 行送り12 pt |
| ICJ 4 脚注 | 8 pt 明朝系もしくはTimes系, 左揃え, 行送り12 pt |
| ICJ 5.1a セクションタイトル(１のみ) | 10 pt ゴシック系, アンダーライン, 両端揃え, 行送り14 pt |
| ICJ 5.1b セクションタイトル(２以降) | 10 pt ゴシック系, アンダーライン, 両端揃え, 行送り14 pt, 段落前14 pt |
| ICJ 5.2 サブセクションタイトル | 10 pt ゴシック系, 両端揃え, 行送り14pt, 段落前10 pt |
| ICJ 6 本文 | 10pt 明朝系, 両端揃え, 行送り14pt |
| ICJ 7.1 図表貼り込み位置 | 中央揃え, 行送り１行, 段落前後6 pt |
| ICJ 7.2 Figure Caption | 10 pt Arial系, 両端揃え, 行送り12 pt, 段落後6 pt |
| ICJ 7.3 Table Caption | 10 pt Arial系, 両端揃え, 行送り12 pt, 段落前6 pt |
| ICJ 9.1 参考文献タイトル | 10 pt ゴシック系, 中央揃え, 行送り14 pt, 段落後6 pt |
| ICJ 9.2 参考文献リスト | 9 pt Times系, 左揃え, 行送り11pt, 段落後2 pt |

４.２　設定したスタイル内での書式の変更

スタイルタグを用いて設定した書式は、必要であれば適宜変更の上、ご利用頂けます。例えば、参考文献のラベルは、スタイルで「ICJ 6 本文」を指定した後に、「上付文字」を指定して下さい。細かな書式設定を行った後に段落のスタイル設定を行うと、最初に設定した書式は消去されますのでご注意下さい。

５．図、表

キャプションおよび説明文は英文で書きます。図面はカラム幅内に収めるのが基本ですが、左右のカラムを跨いで挿入することも可能です。印刷用紙上での明瞭な画像再現を維持するため、高解像度な画像データを準備してください。推奨は、カラー、グレースケール画像で350 dpi以上、2値画像データで1200 dpi以上です。図形や文字を貼り付ける場合、紙面上での文字のサイズが5ポイント以上、線の太さが0.3ポイント以上を確保してください。写真は、コントラストの高いものを用いて貼り付けて下さい（ディスプレィ上で適切に調整しても、冊子印刷時に暗部がつぶれてしまう場合があります）。

６．用語および単位系

専門的な用語は、専門分野の異なる方にも理解できるように平易なものとしてください。略語を用いる場合には、最初に出てくる際に（　）を付け省略しない単語を記入して下さい。単位系は、ＳＩ単位とします。下記、日本画像学会誌原稿執筆要項　付録3「量記号及び単位記号一覧表」も参考にしてください。

<https://www.imaging-society-japan.org/ISJ_journal/appendix3_Unit_List_210127.pdf>



Fig.1 ISJ’s logo.

７．参考文献の記載方法

参考文献は、画像学会誌の記載方法に準じます。著者、題名、雑誌名、巻、頁、発行年をこの順に出来るだけ英文で記載して下さい。その際に、参考文献が和文である場合には、発行年の後ろに[in Japanese]と付記して下さい。このテンプレートの参考文献は、1)が書籍の場合、2)が論文の場合、3)が会議予稿の場合を示しております。

詳しい参考文献の記載方法は、画像学会誌執筆要項（下記URL）に従ってください。

<https://www.imaging-society-japan.org/ISJ_journal/20221101_tebiki.pdf>

参考文献

1. S. M. Sze, “Physics of Semiconductor Devices,” Second Edition, John Wiley & Sons (1981).
2. N. Nagayama, “Photorefractive polymer as a holographic recording medium,” Journal of Imaging Society of Japan, **45**, pp. 277-282 (2006) [in Japanese].
3. N. Nagayama, N. Nakamura, and M. Yokoyama, “Pixel image formation on a multi-layered organic film installed with pixel-like floating electrodes,” Proceedings of the International Conference on Digital Printing Technologies (NIP 20), (Salt Lake City, Utah, USA), Society for Imaging Science and Technology (2004), pp. 543-546.